



■3/11「原発ゼロへのカウントダウン in かわさき」集会 報告

原発ゼロへのカウントダウン in かわさき実行委員会・共同代表 川口 洋一（当 NPO 理事）

うらかな日恵に恵まれ、朝から多くの方が会場に足を運んでくれました。10：30開場。ブースの数も年々多くなり、今年は原発ゼロ市民共同かわさき発電所も含め、出店は34団体となりました。

13：00 メインステージにて開会のあいさつ後、集会在3月11日と震災の日に当たるため、被災者と被害者に黙とうをささげました。引き続きお2人のゲストに話を頂戴しました。



当NPO：会津喜多方の酒「彌右衛門」が大好評

●福島県北^{きたのうみんれん}農民連事務局長の服部 崇さんの話

いま確かに「空間線量は下がりました」とテレビでも言っていますが、土壌の汚染はほとんどの場所で基準を越えているとのこと。そういうところで農家の人は働いています。作った作物から放射性物質が出ないから良いというものではないです。我々が先祖代々受け継いできた農地を、子や孫に渡すときに汚染したままで良いのか、対策をとってくれよと、ずーっと国に言い続けております。そのことを報告したくて今日は来ました。



メイン集会：今年は1,100人の参加者で熱気を帯びました。

原発をなくす、もう原発の電気はこりごりだということで、福島県農民連という組織が、太陽光発電を中心とした発電を行っています。農家の方から余っている土地を借りて、小さな発電所を県内に沢山作っていかうとしています。なぜ小規模発電にこだわるのかというと、地元の工務店や電気屋さんの協力を得て、地元にお金が回るような形で作ってきたいのです。いま農民連の発電規模は6,000kWを越えました。



●原発ゼロ自然エネルギー推進連盟幹事で元湖西市市長の三上 ^{こさいし} 元 ^{はじめ} さんの話



三上元さん（元湖西市市長）が熱弁

2001年9月11日の世界貿易センタービルなどに対する航空機テロを見て、日本にある50基余の原発はミサイルや航空機テロによって国民を殺す核地雷になると考えました。そして原発のことを勉強すればするほど反原発派になります。原発を推進している人は勉強していない人です。

原発ゼロ法案が野党4党の共同で国会に提出されました。この法案を通すには国民的運動を巻き起こさなければなりません。そして秋の自民党総裁選に河野太郎を立候補させる。国会議員の「原発ゼロの会」の共同代表ですからインパクトあります。次が来年春の統一地方選挙でドカーンと多くの原発反対地方議員を当選させましょう。その次は参議院選挙です。比例区は全国の組織を使って反対派を、地方区は、静岡県は2人区なんですが原発推進派が占めています。私たちは反対派の候補者を擁立して、勝ちに行きます。

武蔵小杉駅まで、原発ゼロへのデモ行進



メインステージにて再エネ条例のアピール

市内で活動している5グループのリレートークの後、3つの梯団を作り、元住吉から武蔵小杉まで「原発なくそう未来のために／原発やめよう 子どものために」とパレードに出ました。

集会の参加者は1,100人でした。

第6回「お日さま春まつり」

日時：5月13日（日）11:00～15:00

会場：多摩区 中野島・中央公園

（スーパー文化堂のとなり）

主催：お日さま春まつり実行委員会

後援：川崎市・川崎市教育委員会

連絡先：080-5515-9716

（ミツバチの会代表 玉田恵美子）

テーマ：エコ・自然エネルギーにふれよう

★ミニステージ：和太鼓・バンド演奏

★ソーラークッキング、自然エネルギー

★屋台いろいろ、子どもコーナーなど

36回「平和をきずく市民のつどい」

日時：6月3日（日）10:00～15:30

会場：中原区 川崎市平和館（平和公園内）

講演：（仮称）立憲主義の現状と

憲法9条改憲の危機

講師：武井由起子弁護士

主催：第36回「平和をきずく市民のつどい」実行委員会

後援：川崎市、川崎市教育委員会（申請中）

連絡先：044-766-0550 田辺

テーマ：川崎市核兵器廃絶平和都市宣言

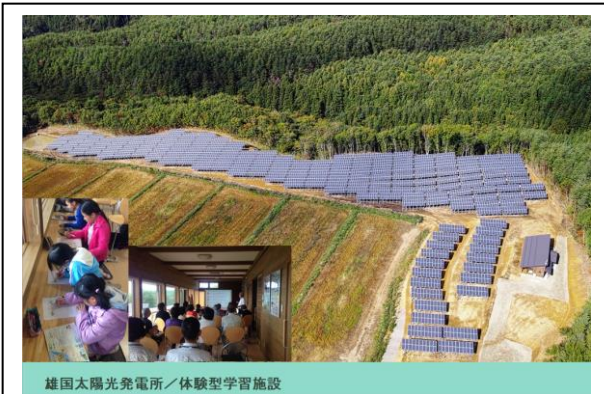
36周年記念

★舞台パフォーマンス、屋台いろいろ



■大震災から再エネ活用のまちづくりへ 6/9～10「会津電力・土湯温泉視察旅行」

理事 高橋 喜宣



雄国太陽光発電所／体験型学習施設

会津電力「雄国太陽光発電所」で佐藤彌右衛門さんの話も



土湯温泉町「地熱発電所」

来る6月9日から10日に福島スタディツアー第2弾として、「大震災から再エネ活用のまちづくりへ、会津電力・土湯温泉視察旅行」を行います。

福島原発事故をきっかけに始まった、会津と土湯温泉の「再エネを活用したまちづくり」を視察します。宿と食事にもこだわりました。

○視察のポイント

初日は会津電力の雄国太陽光発電所を見学。第1期事業として建設された会津地域初のメガソーラー発電所です。会社設立のきっかけは東日本大震災。体験学習施設を隣接し、施設見学とともに再生可能エネルギーの体験学習もできます。視察は2時間半たっぷりとしています。3号機通電式の講師・佐藤彌右衛門さんの話を聞いた方も聞かなかった方も、彌右衛門節を味わってください。

2日目は1400年以上の歴史を持つ温泉郷土湯温泉町の地熱発電所と小水力発電所を訪れます。東日本大震災以降、最も廃業が目立った温泉地としても報道され、16件あった旅館は11件にまで減少。原発事故後の風評被害もあり、温泉地は存亡の危機に立たされました。そこで起死回生策のひとつとして、再エネ

の事業に乗りだしたのです。土湯温泉バイナリー発電所は、当NPOが開催した上映会「日本と再生」の映画でも紹介されました。

○宿と食事
宿も食事処も現地の方々から推薦いただいた所を選びました。10種類以上の泉質の温泉が楽しめるホテル山水荘。観光協会おすすめスポットの土湯堤ヶ平で見ごろを迎えているヒメサユリを見学。「可憐な紅淡色の花が咲き競う景色には思わずため息が出るほどです」とHPに紹介されています。

○内容

○日 時： 2018年6月9日(土)・10日(日) 7時～翌19時
○行き先： 福島県喜多方市と土湯温泉町
○参加費： 23,000～25,000円
(人数によって変動制：交通費、朝夕付宿泊代、昼1回)

○集合

●日 時： 2018年6月9日(土)・10日(日) 7時～翌19時

●行き先： 福島県喜多方市と土湯温泉町

●参加費： 23,000～25,000円

(人数によって変動制：交通費、朝夕付宿泊代、昼1回)

●集合： 武蔵小杉駅中央2出て右側ららテラス武蔵小杉前7時

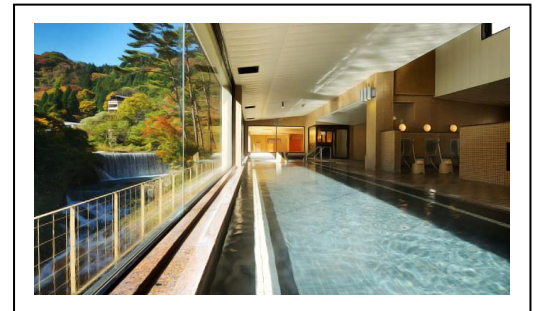
●主催： NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所

●申し込み： genpatuzero.hatuden@gmail.com

(保険の関係で、住所・生年月日が必要)

担当： 田中・高橋 先着25名

●問い合わせ： 電話&ファクス 044-722-6766 (高橋)



寄稿 ■核兵器禁止条約とは何か—その意義とこれからの課題

当NPO理事 田辺 勝義



3月20日に中原市民館で、「平和をきずく市民のつどい」のプレ企画「核兵器禁止条約とはどんなものか」と題した、和田征子さん（日本被爆者団体協議会事務局次長）の講演会が開かれました。

和田さんは、自らの長崎での被ばくの経験から話を始め、昨年7月に「核兵器禁止条約」が国連総会で122か国の賛成で採択されたことを報告しました。そして、核兵器が人間に悲惨な被害をもたらす非人道的な兵器であり、それによる被爆の被害を繰り返させないためには、悪魔のような核兵器を無くす以外にないことが明確にされた、と述べました。

また、和田さんは、昨年11月の「核兵器の無い世界と総括的軍縮への展望」と題したバチカン法王庁での国際会議に招待され、

そこで発言しました。教皇も被爆者や核実験被害者の「予言的な声が、何よりも次の世代のための警告として役立つことを願います。」と語ったことやノーベル平和賞受賞者や世界の平和活動家に出会ったことも語りました。

多くの国の大使や議員、市民の意見をまとめて起草され、122か国の賛成で採択された、そして、被爆者が長年努力して来た核兵器廃絶へ向けた「禁止条約」ができて、歴史的な一步を踏み出したことは大きな喜びだが、日本政府がアメリカに追随して反対して会議にも出なかったことは恥ずかしいし安倍政権は許せない、さらに、署名をした国が50を超えたが批准をした国がまだ少数であり、前進するためには原水爆禁止運動をさらに進めることがこれからの課題だと述べました。そのために「国際署名をたくさん集めてほしい。」と訴え、お話を終えました。

巨大な変化が起こりつつあることに納得がいった、と同時に、前進のために諸困難を乗り越える必要があることが鮮明になったお話でした。終了後の食事会は和田さんを囲んで、和やかにかつ未来志向の話になり楽しく進みました。

【編集後記】

今年の春は暖かく、桜の開花が早まりました。今はすっかり青葉が繁り、春が短くなっている気がします。これも地球温暖化と関連しているのでしょうか……。一方、冷え冷えするような政治情勢が続き、市民の怒りは昂るばかりです。たまにはのんびりと(?)会津に行きませんか。(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

でん太通信は毎月15日に発行しています。

